



病院の概要



- 病床数 350 床
- 医師数（研修医を除く）46 名（うち指導医数 17 名）
- 研修医数 1 年目 1 名 2 年目 0 名
- 研修医の主な出身大学 神戸大学・順天堂大学・東北大学・金沢大学・新潟大学・東京女子医科大学・杏林大学・東京医科歯科大学・ほか
- 診療科 内科 消化器内科 循環器内科 肝臓内科 腎臓内科
呼吸器内科 糖尿病内科 内分泌内科 神経内科 リウマチ科 人工透析内科 アレルギー疾患内科 内視鏡内科 外科
消化器外科 食道外科 肝臓外科 大腸外科 脳神経外科 整形外科 リハビリテーション科 呼吸器外科 泌尿器科
婦人科（健診のみ） 乳腺外科 眼科 皮膚科 形成外科内視鏡外科 放射線科 放射線診断科 病理診断科 臨床検査科
救急科 麻酔科
- 1 日平均外来患者数 519 名 ● 1 日平均入院患者数 172 名
- 主な認定施設 日本内科学会認定医制度教育関連病院、日本外科学会外科専門医制度修練施設、日本循環器学会認定循環器専門医研修施設、日本腎臓学会研修施設、日本栄養療法推進協議会・NST（栄養サポートチーム）稼働施設、日本医療機能評価機構認定病院（3rdG:Ver1.1）

研修プログラムの特色

内科系は腎臓、循環器、内分泌代謝、呼吸器、消化器を常設し、さらに大学からの支援で神経内科、膠原病・リウマチ内科の外来診療を行っています。腎臓内科は開設 40 年弱の透析医療の長い歴史があり、別館・透析クリニックで関東最大級 400 例以上の維持透析を担い、循環器内科は救急医療連携で PCI から末梢動脈まで幅広く活躍し、内分泌・糖尿病内科は専門的糖尿病診療から糖尿病教室まで地域に密着しています。呼吸器内科では市中感染症診療、睡眠時無呼吸症候群、緩和医療まで集約的に取り組み、消化器系は肝炎、栄養を中心に診療を行なっています。

外科系は消化器、血管、泌尿器、整形外科、脳外科から乳腺外科、形成外科まで幅広く対応しています。消化器外科は、ヘルニア日帰り手術から鏡視下手術に至るまで精力的に活動し、内視鏡外科では 2000 例に及び症例を誇っています。また整形外科では人工関節置換術から脊柱官狭窄症や脊椎変形まで県下有数の実績を挙げています。脳神経外科は埼玉県脳梗塞急性期ネットワークに参画し年頭から基幹病院としてこの 11 ヶ月間に 200 例以上の受入数に及んでいます。救急医療から生活習慣病まで幅広い地域医療に接しながら充実した研修が当院の特色です。



プログラム

卒後初期臨床研修プログラム（募集定員 2 人）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
1 年目 ▶	内科						外科			麻酔科		救急
2 年目 ▶	小児科	精神科	産婦人科	地域医療	選択							

◇必修

内科 6 ヶ月、外科 2 ヶ月、麻酔科 2 ヶ月、救急 2 ヶ月、小児科 1 ヶ月、精神科 1 ヶ月、産婦人科 1 ヶ月、地域医療 1 ヶ月

◇自由選択 8 ヶ月

内科、外科、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、麻酔科より選択

研修医の処遇

- 給 与 ▶ 約 41 万円 / 月
- 諸 手 当 ▶ 通勤手当あり、賞与なし
- 保 険 ▶ 健康保険、厚生年金、雇用保険、労災適用
- 勤務時間 ▶ 9 時～ 17 時
- 当 直 ▶ あり（4 回 / 月）
- 休 暇 ▶ 1.5 日 / 週
- 宿 舎 ▶ あり 2.5 万円 / 月
- そ の 他 ▶ 当直手当あり

主な臨床研修協力病院・協力施設

- ・東京医科歯科大学医学部附属病院
- ・草加市立病院
- ・秀和透析クリニック
- 他

当院の魅力

地域に密着した研修で 技術を習得



埼玉県は全国でも1～2位の高齢化進行率ですが、2015年の統計では65歳以上の頻度は全国では26.6%、東京都22.7%、埼玉県24.8%を示し春日部市では28.1%とさらに高齢化が進んでいます。この地域に密着した研修を考える時には合併疾患で病める高齢者に対し、各領域専門医の指導下に最新鋭の医療機器を用いて、最初は問診聴取から身体所見の取り方、そして各種検査値の読み方や画像診断の技術を修得することになります。

秀和総合病院では内視鏡始めCT診断装置、MRI診断装置、各種超音波診断装置、心臓血管撮影装置など大型医療機器を設置していると同時に各領域の専門医や指導医が常勤しています。特に多くの医師の出身母体である国立大学法人・東京医科歯科大学医学部附属病院や近接する獨協医科大学・埼玉医療センターなどと密接な医療連携を保持し、必要に応じて診療科研修に出向くこともあります。

病院数を人口10万人当りで見ると、全国では6.56、東京都4.75、埼玉県4.73、県内・東部医療圏で4.47を示しますが、春日部市では5.59と比較的病院数が多いのが特徴です。一方、同じ条件下の医師数では全国233.9人、東京都311.8人、埼玉県166.8人、春日部市143.5人と最小人数でもあります。

是非、高齢化率が高く医師数の少ない当地で少数精鋭の騎士として、医療技術の修得と共に初めての臨床研修医期間を秀和総合病院で過ごし、人として医師としての充実した新たな道に共に進みましょう。データ出典：日本医師会 地域医療情報システム



研修責任者から

message



副院長

安達 進

秀和総合病院がある春日部は人口約24万人の市で、東武鉄道のスカイツリーラインとアーバンパークラインが乗り入れ都心や大宮、千葉からのアクセスが非常によい場所にあります。

当院は埼玉県東部医療圏の救急基幹病院で年間4000台の救急車を受け入れ地域の急性期医療のみならず、がん医療、緩和医療、健診センター、透析クリニックなど幅広く展開し、より専門性が高くより質の高い医療を提供できる病院として機能しています。

2004年に新築移転した病院には最新の医療機器や電子カルテシステムまた文献検索などが行える図書室を備えており快適に仕事に取り組むことができる環境にあります。

医師としての研修も大学や教育病院での指導経験豊富な指導医が各診療科におり適切かつ迅速に診断・検査・治療を遂行できるように研修医の教育を行っています。

先輩研修医から

message



研修医1年目

野口 麻理緒

当院での研修の魅力は、病院全体で研修医を育ててくださる体制にあると思います。指導医の先生方はとても親身になって丁寧に指導して下さいますし、回っている診療科以外の先生方やコメディカルの方々にも気軽に相談しやすく、とても恵まれた環境だと思います。たくさんの方々に見守られ、助けていただきながら研修させていただいていると日々実感しています。

研修プログラムとしては内科、外科、麻酔科とバランスよくローテーションすることができ、どの科でも研修医のやる気次第で多くの症例を診させていただき、様々な手技を経験することができます。救急診療もファーストタッチからICまで指導医とコメディカルの方々のバックアップの下、多くの経験を積むことができ、とても充実したプログラムだと思います。

来年度当院で研修される先生方が当院の優しさに触れながら充実した研修医生活を送られることを願っています。

女性医師支援コーナー

研修医期間での女性医師支援策は特に企画していません。

現在、厚労省「医師の働き方改革に関する検討会」では研修医等については、2018年7月9日に「臨床研修医省令に規定された『研修医』については『医師の特別条項』の特例の枠組みの中で別途制度を定める」との答申がなされ、米国卒後医学教育認定評議会が制定した制度との整合性を検討中です。また、これまでの女性医師支援プログラムは院内保育・病児保育などを含めた柔軟な勤務体制の整備と活用が主な対応で、これらは既に卒後数年目の女性医師には実施されています。

臨床研修期間中は、その勤務形態や内容に男女別の分け隔てなく対応しながら適時、研修医の体調などを観察しながら、医師としての初めての貴重な経験に邁進してもらうべく注意深く育てて行く病院の方針です。チーム医療という環境の中では研修医は治療対象ではなく、チーム環境の中で多方面にお世話になりながら、一方で医師としての責務を自覚し、いずれはリーダーとして独り立ちするように温かく優しい、頼れる女性医師として育む考えです。

連絡先

秀和総合病院

総務課（医局） 堀内聡乃

〒344-0035 春日部市谷原新田1200

TEL ▶ 048-737-2121（代表） FAX ▶ 048-737-2903

E-mail ▶ sgh.ikyoku@shuuwa-gh.or.jp

URL ▶ http://www.shuuwa-gh.or.jp

アクセス ▶ 東武スカイツリーライン・東武アーバンパークライン「春日部駅」下車後、西口より朝日バス「秀和総合病院」下車 所要時間10分

病院見学、その他イベント・説明会等の情報

- 随時、病院見学を受け付けております。希望の日程をご連絡ください。